

勝山市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界的に急速な気候変動の進展により豪雨・洪水・台風をはじめとする自然災害が激甚化しています。本市においても 2021 年 1 月の記録的な大雪等の異常気象が多発しており、市民の安心・安全な日常生活が脅かされるなど、気候変動問題は私達の生活に大きな影響を及ぼしています。

その原因の一つとして挙げられるのが地球温暖化であり、その対策として、2015 年に合意されたパリ協定では、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて 2℃未満に抑制すること、及び 1.5℃までの抑制に向けた努力を追求することが世界共通の長期目標として掲げられ、2018 年に公表された IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、気温上昇を 1.5℃に抑えるためには、2050 年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

これらの目標の達成に向け、政府は、2020 年 10 月に「2050 年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。

このような国内外の動向を踏まえ、勝山市においても、いま直面している地球温暖化という課題に対し、市民・事業者・行政が一体となって、脱炭素社会の実現に向けた取組を積極的に推進することが求められています。

勝山市は、本市が目指す環境像『太古からの豊かな自然美しい環境を未来に受け継ぐまちかつやま』を実現していくため、市民や事業者など多様な主体と連携し、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。



令和 4 年 1 月 6 日

勝山市長 水上実喜夫